

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 10月 15日

【評価実施概要】

事業所番号	0173200510		
法人名	医療法人社団 三愛会		
事業所名	グループホーム「里の家」		
所在地	名寄市西1条南4丁目17番地 (電話) 01654-2-6612		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年8月29日	評価確定日	平成19年10月15日

【情報提供票より】(平成19年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年1月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	10,500~16,500 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	200 円	昼食 250 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(8月29日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	10	要介護2	2		
要介護3	3	要介護4	1		
要介護5	2	要支援2	0		
年齢	平均 80.6 歳	最低	60 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	名寄三愛病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は商店や役所が近隣にあり、生活する上で恵まれた環境に立地している。母体が医療法人ということもあり医療面で連携がとりやすく利用者本人・家族の安心に繋がっている。事業所内にある庭はきれいに整備されて芝生は憩いの場となっており、利用者の楽しみ事になっている。また、職員は利用者一人ひとりの思いを大切に、理美容院・かかりつけ病院への送迎など、本人の希望に沿えるよう支援している。町内会協力の下、花壇の整備を行っており地域との関係も徐々に深まっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での家族との交流を深めるといった課題について、敬老会を家族とともに企画するなどの取り組みを始めている。しかし、職員の緊急時の応急手当等の研修は未実施であるため、今後の取り組みに期待される。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で自己評価に取り組み日々のケアサービスを振り返る機会としており、質の向上に活かしている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>平成18年9月に運営推進会議が設置されており、2ヶ月に1度継続的に開催されている。会議において事業所の取り組み状況等を報告して活発な意見交換を行い、事業所の運営に活かしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>運営推進会議や来訪時に家族の意見を聞いている。頻繁に来訪できない家族には電話や事業所便りにて情報提供をしている。家族から意見・要望等を受けた際は提示された意見をもとにした運営推進会議の議事録の配付や電話にて対応し、日々のケアサービスに活かしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入しており町内の行事に積極的に参加している。また、婦人会の訪問や地域住民の協力による避難訓練の実施、花壇の手入れなどが行われており、地域との連携も密に取れている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームは地域と共存すべきという考えの下、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝のミーティング時やカンファレンス時に、日々のケアサービスと結びつけながら理念を確認している。	○	今後も、開設当初の思いを継承するため、理念の実践について具体的に検討し続けていく取り組みが期待される。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており地域の行事に参加している。また、町内婦人会の訪問があったりボランティアの花植え作業を協働で行うなど、地域との関係が徐々に深まってきている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で2回にわたり検討し、自己評価に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は利用者・家族・町内会会長・市の職員を構成員としており、2ヶ月に1度実施している。また、会議において活動報告書を開示して意見交換を行い、事業所の運営に活かしていると共に会議録は家族や町内会にも配布している。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>現在、在宅介護を支える会やSOSネットワークづくりを計画しており、市とも密に連携を取り、共にサービスの質の向上に努めていく予定である。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に事業所便りを発行しており、利用者の暮らしぶりや健康状態等について家族に報告している。また、金銭管理専従職員を配置しており、金銭の出納について明確できめ細かな対応を行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員は家族が意見・要望等を伝え易いような雰囲気づくりを心がけており、来訪できない家族には職員が頻繁に電話・手紙にて意見・要望を聞き、交流を絶やすことのないよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動があった場合は、利用者と顔馴染みになれるよう職員の配置に配慮している。また、家族に新しい職員の紹介を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	全職員が交代でグループホーム協議会主催の研修会に参加している。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	事業所開設時は全職員が他事業所で1ヶ月間の実習を行っている。現在、職員は個々に他事業所職員との交流があるが、事業所全体で交流を図るまでには至っていない。	○	今後、他事業所と合同で行事を開くなど交流を図り、より一層サービスの質の向上に取り組む事が期待される。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	事前に家庭訪問したり事業所を見学してもらい、馴染みの関係を築いてからの入居としている。入居後も利用者が馴染みにくい場合は家族にも事業所で過ごしてもらったり宿泊してもらするなど、利用者が無理なく馴染めるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者一人ひとりの生活歴や力に合わせ、食材の買出し・洗濯物たたみ・菜園や花壇の手入れなどを利用者に教えてもらいながら共に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前に家族から利用者の生活歴等の情報を収集しているとともに入居後は日々の暮らしの中から本人の希望・意向の把握に努めている。また、3ヶ月毎にアセスメントの見直しを行っている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画はカンファレンス時に全職員で検討し作成している。また、家族や施設長を交えて話し合い、介護計画に反映するよう心がけている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度介護計画の見直しを行っているが、利用者の状態変化に応じてそのつど話し合い見直しを行っている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院への送迎や理美容院への付き添いなど、利用者の希望に応じた柔軟な支援を実践している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の入居前までのかかりつけ医への受診支援を行っている。また、通院については職員が送迎している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>医療連携体制と重度化への方針について重要事項説明書に記載しており、入居時に本人・家族に説明している。また、利用者の状態変化が生じた場合は、医師を交えて本人・家族に説明する場を設けて方針を確認している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報は事務室に保管しており、適切に処理されている。また、職員は利用者の誇りを損ねることのないような対応・言葉かけを徹底している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の意思を尊重し、散歩や買い物など一人ひとりの希望に合わせて支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を採り入れた献立が生まれ、また外食や出前を利用する機会もあり、変化をもたせながら食事を楽しめるよう工夫している。また、デパートや福祉センター内にある喫茶店にコーヒーを飲みに行ったり希望に応じて晩酌も可能である。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じて24時間入浴が可能である。夜間や早朝に入浴する利用者もあり、職員は利用者が寛いで入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩・菜園や花壇の手入れ・習字・カラオケなど、利用者の生活歴に応じた楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・ドライブなど、一人ひとりの希望に合わせた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯上の理由から施錠しているが、日中は鍵をかけておらず利用者の自由な暮らしを支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備えて町内会協力の下、年に2回通報・避難・消火訓練を実施している。また、町内会は避難場所までの移動手段も検討してくれている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分チェック表やバイタルチェック表を活用しており、毎日の記録により職員は利用者一人ひとりの必要量を把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は採光も充分で明るく開放的である。また、大きな窓を設置した小上がりが増築され、利用者にとって快適な居場所づくりにも配慮されている。利用者の大半は日中は居間で過ごすことが多く、利用者にとって居心地の良い空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者の馴染みの家具や仏壇が持ち込まれたり家族写真が飾られており、利用者が安心して暮らせるような場所となっている。		

 は、重点項目。